

「サステナビリティ」を 再発見する

三重の歴史的・
文化的営みを通して

2015年、国連でSDGs(持続可能な開発目標)が採択された。この理念は、三重という地で古来より受け継がれてきた伊勢神宮の常若の思想や、豊かな自然の恵みと共存する生活文化に通じる。また、四日市における公害からは、大きな教訓を得た。このような三重県で、改めて「サステナビリティ(持続可能性)」の意味を問い直し、いまと次世代をつなぐ社会と環境のあり方を再発見する。

【定員】
150名(申込順)
お申込み締切
2月7日(金)

2020 **2/12** (水)

〈時間〉 **13:30~16:00**

〈場所〉 **環境・情報科学館 1階**

パネルディスカッション

「SDGs達成と三重大学・三重県の
リーダー的役割」

【パネルディスカッションコーディネーター】

三重大学人文学部・地域イノベーション学研究所 朴 恵淑

【パネリスト】

神宮司庁 広報室広報課長 音羽 悟

志摩市長 竹内 千尋

前四日市市長・学校法人大橋学園 顧問 田中 俊行

速水林業 代表 速水 亨

三重大学院生 安部 大樹

三重大学生 ESD-SDGsクラブ代表 南部 陽香

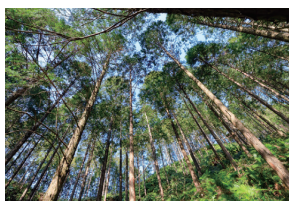
三重大学 理事・副学長(教育担当) 山本 俊彦

基調講演

「環境文明的SDGsと
三重大学・三重県への期待」

加藤 三郎氏

株式会社 環境文明研究所 代表取締役・所長
認定NPO法人 環境文明21 顧問



©伊勢志摩観光コンベンション機構



©伊勢志摩観光コンベンション機構



三重大学はTHE大学インパクトランキング2019で **国内1位 国内5位T** に輝きました。
(12 つくる責任つかう責任) (13 気候変動に具体的な対策を)

主催:三重大学地域人材教育開発機構
SDGs・ESD 教育開発・推進プロジェクトチーム
共催:一般社団法人国立大学協会
三重大学国際交流センター / 国際環境教育研究センター

キャンパスマップ▶



お申込み・お問い合わせ▶

